

論題	横浜正金銀行券について (II) —横浜正金銀行資料コレクションの紹介 その3—
著者	寺寄弘康
掲載誌	神奈川県立博物館研究報告—人文科学— 第36号
ISSN	0910-9730
刊行年月	2010年(平成22年)3月
判型	A4(210mm × 297mm)

【資料紹介】

横浜正金銀行券について (II)

―旧横浜正金銀行史料コレクションの紹介― その3―

寺 寄 弘 康

目次

はじめに

一 横浜正金銀行券発行の経緯

(1) 対中国業務の拡大と一覽払手形の発行

(2) 日露戦争軍票回収と一覽払手形

(3) 横浜正金銀行券の発行と廃止

(以上第34号)

二 横浜正金銀行券の特徴

(以下本号)

(1) 一覽払手形

(2) 横浜正金銀行券

まとめ

二 横浜正金銀行券の特徴

(1) 持参人払約束手形

一九〇二(明治三十五)年四月十一日、正金銀行は印刷局に上海、天津、牛莊の三支店で発行する「請求次第持参人二仕払フヘキ手形」合計二十一種類三十七万枚を発注した。一覽払手形の図案様式について、正金銀行は「日本銀行兌換券御製造ノ例」に準じたいと希望を述べ、発行する支店支配人と計算主任の署名、記番号を刷り入れることを申し入れている。^①その券種ごとにアルファベット記号が付けられ、上海支店分ではAからC、天津支店分はDからK、牛莊支店分はLからWまでとなっている。IとOの記号が除かれているのは、算用数字の「1」と「0」とに混同されやすいからであろう。

注文を受けた印刷局では、すぐに原板の彫刻と用紙の抄造にとりかかり、その後印刷工程に移ったようであるが、三支店で二十一種類合計三十七万枚もの大量な製造量であったため、原版が完成した分からは順次印刷を開始したものと^②思われる。印刷経費はすべて正金銀行側が負担した。実際の経費についての資料は見あたらないが、〇八年に開催された東洋支店長会議における天津支店支配人井上一男の^③発言の中に、三種類合計十六万枚で三千三百円とあることから計算すると一枚につき約二十一銭となる。新たに版を起すことがない増刷の場合には経費は軽減されるであろうが、完成した手形を中国の支店まで輸送する経費、損耗等で廃棄する際の経費等を含めると、一覽払手形(銀行券)の発行業務は、正金銀行にとって経費としてはけっして軽微な

【キーワード】 横浜正金銀行 資料コレクション 銀行券

【要旨】

前回(『研究報告』第三十四号)に続き、横浜正金銀行が一九〇二年から在中国の支店で発行した銀行券について、その経緯と特色を当館所蔵の銀行券(見本券)をもとに紹介する。これまで余り着目されていなかった券面の模様や図像の差違について指摘し、その理由が偽造防止にあったことを指摘する。

ものではなかったに違いない。

一覽払手形の仕様については、発注時に印刷局と正金銀行との間でやりとりがなされ、「頭取印章ハ要セス候得共之ヲ発行スル各支店支配人及計算主任ノ署名並ニ番号ニ至ルマテ刷入完成ノモノ」とされた⁴。これにより印刷局が製作した一覽払手形は表1のとおりである。寸法は一八八八（明治二十一）年から九一年にかけて発行された日本銀行改造券（一円、五円、十円、百円）の寸法に準じた大きさとなつていゝ。手形のデザインは、支店ごとに変えるのではなく、弗券と英洋券、銀両券、小洋券という交換貨幣の本位ごとに分けられ、たとえば弗券であれば上海、天津、牛莊のドル券のデザインは共通で、券面に印刷された地模様と上模様の色彩すなわちインクの色が異なるだけである。色彩を組み合わせることで、九通りになっている。

図1は一九一八（大正七）年に天津支店が発行したドル（一円）券の見本券であるが、これは〇三（明治三十六）年に横浜正金銀行が最初に天津で発行した一覽払手形と同一の様式と色彩である。これもとに様式を見ていきたい。英文面から見て「横浜正金銀行」の文字が上下二段に凹漉されている用紙が使用され、その上にそれぞれ地模様や上模様⁵、文字や記番号が印刷されている。その上で見本券であることを示す「Specimen」「此票様式不得通用」の文字が加刷されている。この加刷は正金銀行の求めにより印刷局で施したもので、手書きの「Specimen」や「見本」は正金銀行側で記入したものである。この一枚に用いられたインクは四色で、これもまた日本銀行券と同様である。

さて、手形や銀行券の表裏については明確な根拠はないが、『図録日本の貨幣』では正金銀行が外国銀行の手形をまねた点から英文面を表とし、大連支店の金券のみを邦文面を表とするという二つの基準をとっている⁶。本稿では便宜的に漢文・邦文面を表とし、英文面を裏としていきたい。

表面は、輪郭模様で囲まれ、その四隅に額面を示す漢数字が配置され、中央、彩紋（雲状の模様）の上には「壹円」の額面が印刷されている。額面の上部には飾窓枠があり「天津」の支店名が、その上部には「横浜正金銀行」名が影付文字で印刷されている。額面をはさんで左右に「横浜正金銀行鈔票永遠通用」と発行年月日を示す「中華民國七年六月十五日」が印刷され、彩紋の上に漢文で「憑票即付天津通用銀兩祇認票不認人執此為照」とあり、誰でもこの手形を持参すれば「天津通用銀兩」と交換することをあらわしている。「鈔票」とは紙幣で、「銀兩」とは円形の銀貨を意味している。

裏面は、唐草の輪郭模様で、上部の左右両隅に「DOLLAR」の文字が、下部左右両隅には算用数字「1」が印刷されている。表面と同様に券面の上部に横浜正金銀行名と支店名が英文で記載され、その下に宝珠を挟んで向かい合う二匹の龍（双龍）の図像が印刷されている。券面中央に「ONE DOLLAR LOCAL CURRENCY」とある。これを上下ではそれぞれ「Promises to Pay the Bearer on Demand」「at its Office here, value recieved」と印刷されている。その下に発行年月日と交換地の「Tientsin, 15th June 1918」、役員会の命令である「BY ORDER OF THE BOARD OF DIRECTORS」が付記さ

れ、支店の計算主任と支配人のサインが印刷されている。計算主任は「H.Ohta」(太田保一郎)、支配人は「K.Mogami」(最上國蔵)である。以下では、各支店での一覽払手形(銀行券)の発行の事情と経過を述べていきたい。表2はその総括表である。

①天津支店

一九〇二(明治三十五)年十一月から一弗券(D号)・五弗券(E号)・十弗券(F号)の弗券と、銀両券五両券(G号)・十両券(H号)・五十両券(J号)・百両券(K号)、合計七種類が発行された。弗券は兌換対象がドル貨(おもにメキシコ銀貨)で、銀両券は兌換対象が中国貨幣の「銀両」(いわゆる馬蹄銀など)であった。いずれも英文面と漢文面に銀行名、支店名、額面及兌換の文言がそれぞれ記載されている。天津支店で発行した一覽払手形は〇六年に横浜正金銀行券として認可されるまで、同じ様式で発行を続けた。弗券の英文面には双龍の図像、銀両券の漢文面に双龍、英文面には正金銀行本店建物の図像が印刷されている。本店は〇二年当時は建築中であったため、竣工予想図を図像として用いたようで、実際に竣工した建物とはドームや屋上のバラストレードなどに違いが見られる。

②上海支店

〇二年十二月から一弗券(A号)・五弗券(B号)・十弗券(C号)の弗券のみ三種類が発行された。様式は天津支店の弗券と同様、漢文面は彩紋で、英文面には双龍の図像であるが、インクの色が異なる。

③牛莊支店

〇三年一月から一円券(L号)・五円券(M号)・十円券(N号)の

英洋券、一円券(P号)・五円券(Q号)・十円券(R号)の小洋券、一両券(S号)・一両券(T号)・十両券(U号)・五十両券(V号)・百両券(W号)の銀両券、合計十一種類を発行した。いずれも最初に印刷した分だけで、〇四年二月以降は発行を停止した。天津・上海支店と同じ様式で、英洋券は弗券と同一様式である。小洋券(図2のI-2)は弗券と類似しているものの、漢文面・英文面の地模様や輪郭模様が異なる。銀両券は天津支店と同じ様式で、漢文面に双龍、英文面に本店建物の図像が印刷されている(図2のIV)。

〇五年からは英洋券に代わり一円券(No.1号)、五円券(No.1号)、十円券(No.1号)三種の銀券が発行された。英洋券を踏襲した様式と色彩となっているが、「牛莊通用英洋」の文言を「牛莊通用円銀」に変更した⁷⁾。これはメキシコドルと交換する英洋券から日本の円銀(一円銀貨)と交換する銀券に変えたことを意味する。この背景には前半〔研究報告〕第34号)で述べたように満州の幣制を統一するという政府の意向が存在した。なお、券面の計算方と支配人のサインはそれぞれ「S.Hongo」(本郷榮)「J.Nakanura」(中村錠太郎)と読める。なお、〇六年九月に関東州に於ける統括店が牛莊支店から大連支店に移されたため、牛莊支店発行の一覽払手形はそのまま大連支店に引き継がれ発行された。

同月二十二日には、七日発注分の手形記号をそれまでのL号、M号、N号から新たにそれぞれ「No.1」に改めて印刷局に注文している。その理由は明らかではないが、牛莊での一円券は軍票整理の政府の意向を反映して大量に印刷する必要があったこと、通常紙幣の桁番

は一〇〇万番までであることから、それ以上の発行を予想してローマ字の記号から数字の記号へと替えたのであろう。実際、〇五年七月七日から翌年三月十七日にかけて牛莊支店分としてNo.1からNo.4まで四百万枚の一元券が印刷注文されている。その中に一部「此票任憑執票者在天津取銀」[FOR IN TIENTSIN]と朱色の加刷のある券も見られる。牛莊だけでなく天津でも兌換に応じるという手形であるが、これが実際に発行されたのか裏付ける資料は発見できていない。

なお、当館で所蔵する牛莊支店の一覽払手形のほとんどは〇二年発行券の見本券で、L号からW号までの記号に加えて「何番」と印刷されている。本券と同じく印刷局に依頼し、僅か二十一枚しか製造されなかったものである。〇五年十二月一日以降になると、見本券は二百枚に増加するが、大蔵省など官庁に提出するとともに、中国の各支店に送付し、贗造券の鑑定に使用したり、あるいは本店で保管されたものである。

④北京支店

北京支店では、当初天津、上海、牛莊の各支店と同時に手形を発行する予定であったが、実際には独自の手形を発行することはなく天津支店の手形を共通使用していた。

(2) 横浜正金銀行券

前述（『研究報告』第三十四号）のとおり〇六年九月十四日の勅令第二四七号により翌月十五日から関東集及び満州における横浜正金銀行券の発行が認められ、正金銀行では銀行券発行にともなう規程の整

備や銀行券の発行準備に取りかかった。関東州においては大連支店が統括店となり、大連以外では各支店が銀行券の発行交換等の事務に当たった。

①大連支店

大連支店は〇六年九月二十八日、銀行券の発行に關し主務大臣に申請し、翌十月十六日に認可を得た。⁸⁾ その申請には十円、五円、一元、五十銭、十銭の銀券五種を発行し、その様式と印刷はイギリスに発注することを願ひ出た。正金銀行ではそれまでは印刷局に銀行券の発注を依頼していたのであるが、この大連支店の銀行券をどうしてイギリスで製造しようとしたのか、その理由は分かっていない。同時期に高橋是清頭取が外債募集のため政府の特別財政委員として欧米に派遣されており、高橋の意向が強く働いたのではないかと推定できる。高橋はイギリスから同年十一月二十七日付電報にて「券面二家屋又ハ相像印刷候事偽造等防クニ便ナリト印刷会社ノ注意」と述べているように、大連支店の銀行券のデザインについて高橋の関与は少なくない。高橋はイギリス銀行団と交渉を重ねている最中であり、交渉成立の際には外債の製造を現地でおこなうことから、銀行券もまたイギリスで製造する意図があつたのではと想像できる。結局のところ大連支店銀行券はイギリスでは製造されることはなかった。

大連支店銀行券が実際に発行されたのは、一九二二（大正元）年以降である。少額券より大額券の需要が高まり、七月十七日、政府に申請し、八月十五日に認可され、印刷局で製造された銀券百円券（1号）が最初であつた（図のⅢ参照）。翌年には、大連における貨幣事

情を反映して、金券（金貨又は日本銀行兌換券と引換）を發行する必要があるとし、一円券（A号）（図3のVII-1参照）・五円券（B号）・十円券（C号）の三種の發行を申請し、認可を得た上で十月一日より發行を開始した。¹¹一四年には金券百円券（D号）（図3のVII-1参照）も發行した。しかしABC各号の金券は「紙質ノ過大ナルト意匠ノ精巧ヲ欠キタル為メ一般公衆ノ氣受ケ甚々宜シカラス」という理由で、翌一五年に新様式の金券一円券（図3のVIII参照）、五円券、十円券に取って代わられた。ただし記号は旧金券のABCを引き継いでいる。しかし、一七年十一月二十七日の勅令により満州における金券の發行は朝鮮銀行が所管することになり、十一月三十日をもって正金銀行は朝鮮銀行に發行残高を引き継ぐこととなった。これにより五月二日付で増刷を依頼中であつたA号十萬枚及びB号券五萬枚は、印刷途中の状態本店に引き取られ焼却処分されている。¹³これ以降大連支店は銀券のみを發行した。

一九二八（昭和三）年、前年に発生した世界恐慌の影響で中国でも取り付け騒ぎの状況が発生し、このため正金の大连支店では銀行券の不足を来した。そこで急場の策として青島支店百円券（に号）、天津支店百円券（No.2号）、北京支店百円券（BF号）を大連支店銀行券として改竄（支店名、サインや年月日を赤字で加刷）して發行するべく、五月三十日に当局に申請し、同日大蔵省の許可を得た。¹⁴二九年には青島支店で發行している小額券にならう十銭と五十銭の紙幣を發行すると共に、三〇年には一円、五円、十円、百円の銀券の様式を一新して發行している。¹⁵

② 上海支店

上海支店では一覽払手形一弗券（A号）・五弗券（B号）・十弗券（C号）の三種を銀行券として引き続き發行していたが、〇八年六月二十五日、新たに五十弗券及び百弗券の發行を当局に申請し許可を得て、九月に印刷局に五十弗券（X号）（図2のVII-1参照）・百弗券（Y号）の製造を依頼している。¹⁶一四年にはC号券に変えて新様式の十弗券（Z号）を發行するが、その理由は十円券の發行高が増加し、支店の未發行券の在庫が少なくなったことと、C号券は「様式稍々簡二過キ贗造セラレ易キ虞」があるためであつた。¹⁷ついで一八年にはB号・Z号・X号・Y号の券面年月を「中華民國七年七月壹日」に変更した銀行券を印刷局に注文し、翌一九年から發行している（図2のV参照）。

ところで、銀行券の贗造対策については正金銀行でも留意をしておいたようで、二〇年に上海支店發行五弗券の贗造券が見つかり、二八年にも天津支店發行十円券一枚について贗造の疑いがあるとして、印刷局に鑑定を依頼している。¹⁹銀行券贗造の対策は、上記のように様式を変更する必要がある、表4のような模様や図像の微細な違いによつても対応していたのである。

③ 天津支店

天津支店も一覽払手形の一弗券（D号）・五弗券（E号）・十弗券（F号）、五両（G号）・十両（H号）・五十両（J号）・百両（K号）の合計七種を引き続き銀行券として發行していたが、一七年に至り新たに百弗券（No.2号）を發行した。その理由は、中国政府が弗銀本位制を採用し「中国交通両銀行ニ於テモ弗銀券ヲ發行致候以来弗銀

ニテ大口取引ノ行」わかれており、天津の「日本官民間ニ於テモ弗銀大券ノ発行ヲ希望」するという理由であつた。²⁰一八年にはF号・E号・F号の券面年月日を上海支店券と同様に「中華民國七年六月十五日」に変更した新券を発行した(図2のI—1参照)。天津に於ける弗券の流通が増加する中で、銀行券弗券の追加発行がおこなわれている。三七(昭和十二)年三月には青島支店未発行の一弗券(ほ号)・五弗(は号)券・十弗券(に号)を改竄修補した銀行券を、それぞれ三万、三万六千、三千枚緊急発行した。「北支ニ於ケル邦人ノ發展ニ伴ヒ弊行天津支店発行銀行券流通高漸増ノ趨勢」という表向きの理由であつたが、日華事変勃発直前の河北方面での混乱により天津支店での銀行券需要が高まつたためである。券面の修補は、支店名を「天津」[Tientsin]に、「青島通用銀円」を「天津通用銀円」に、発行年月日を「Tientsin, 1st April, 1937」に、計算主任と支配人のサインを「Y. Yoshida」(吉田芳太郎)「Y. Horie」(堀江栄助)に変え、朱色で加刷したものである。

④北京支店

便宜的に天津支店の銀行券を共通使用していたが、北京と天津での銀相場の差異による業務上の支障もあつたので、一〇年一月二十六日、政府に北京支店銀行券の発行許可を申請し、翌二月十八日付で認可を得た。²²その様式は「大体従来天津支店発行ノ分ニ準拠シ只タ其着色及署名ヲ異ニスルノミ」というものであつた。当初、一円券(A B号)・五円券(A C号)・十円券(A D号)・五十円券(A E号)の四種であつたが、二六(昭和元)年十二月二十九日には「同地市場ノ状態ニ照シ」天

津支店発行百円券ト略同様ノモノニ色彩等幾分変更ヲ加ヘタル」百円券(B F号)の発行を申請し許可を得て翌年より追加発行した。²³その際に、それまでの一円券(A B号)・五円券(A C号)・十弗券(A D号)の記号を変更した新券(B I号・B H号・B G号)も合わせて発行した。

⑤青島出張所(大正八年支店昇格)

青島出張所は一九一三(大正二)年十一月一日に開設され、翌年の第一次世界大戦にともなう日本軍の青島攻略により一時閉鎖となるが、同年十二月三日に営業を再開した。青島で軍票が流通しているという金融事情から軍票を回収するために正金銀行券の緊急発行は不可欠であつたが、「新券ノ製造ニハ原版ノ彫刻、用紙ノ抄造、印刷等ニ数ヶ月ヲ要スル」ため、緊急措置として青島出張所は大連支店銀行券の発行受託店として、大連支店未発行銀行券を改竄して発行することになり、一四年十二月十二日にその申請をおこなつた。²⁴翌年二月八日に政府から取扱高五十万円を極度とする認可を得て、一弗券・五弗券・十弗券の三種を発行した。²⁵この大連支店銀行券とは券面に「牛莊」とあるもので、当館には牛莊支店の一弗券に牛莊を青島に「大清光緒二十八年八月吉日」を「中華民國四年一月一日」[Tsingtau, 1st January 1915]と手書きで修正された銀行券が存在する。その後、改竄券も不足を生じたため極度を二百万円まで増加して発行するとともに、改竄券では「一般公衆特ニ支那人ハ授受ノ際多少ノ疑念ヲ抱」く状態であるため、新銀行券の発行が必要だとして、一五年四月十日に申請し、認可を経て銀券一弗券(い号)・五弗券(ろ号)・十弗券(は号)の製造を印刷局に依頼している。²⁷一六年十一月十七日には軍票小

額券をすると同時に、中国小銀貨の流入を防ぐため十銭（図2のⅩ―1参照）と五十銭（図2のⅩ―2参照）の銀行券の発行を申請し、許可を受け発行した。²⁸

⑥漢口出張所（一九〇七年支店昇格）

漢口出張所は一九〇六年八月に開設され、翌年四月に支店に昇格した。当初は銀行券を発行せず上海支店銀行券の代理発行を検討したが、上海と漢口での通用銀貨が異なるため銀行券の発行を見送ってきた。しかし漢口の中国側銀行が発行する銀行券の信用が失われてきたため、また漢口通用銀と交換可能な銀行券の発行が切望されてきていたので、一弗、五弗、十弗、五十弗、百弗の五種銀行券を漸次発行したいと、一七年三月十六日に申請した。²⁹この申請は四月五日に認可されると、同月七日に正金銀行は印刷局に一弗券（い号）十萬枚、五弗券（ろ号）六萬枚、十弗券（は号）三萬枚、百弗券（ほ号）五千枚の製造を依頼した。これらの銀行券は十月末から十二月にかけて順次完成し、漢口支店に向けて送られ、同店で発行されたのは十二月からであった（図2のⅡ参照）。発行から数年は銀行券の流通は順調であったが、中国での反日感情が高まる一方、日本側の商活動も後退する中で、正金券の流通は捗しくなくなった。さらに同地での不穏な情勢が展開すると、漢口支店での銀券発行をとりやめ、未発行銀行券（百円券四千九百九十七枚、十円券二万九千九百二十一枚、五円券五万九千八百三十枚及一円券九万九千三百七十一枚）を上海支店へ転送し保管した。³⁰様式は漢文面の双龍を正金銀行徽章に代えたものである。

⑦青島出張所濟南分店（一九一九年支店昇格）

濟南支店は一九一五年十月に青島出張所の分店として山東省濟南府に開業した。山東省奥地の物産が集積する経済的な要地であり、日本人の経済活動も活発であった。青島出張所で発行する銀行券を同地でも流通させようと試みたが、「北洋弗流行地ナルガ為メ今日ニ至ルモ青島出張所ノ銀行券ハ通用不致而シテ同地ニ通用スル北洋弗ノ硬貨ハ甚タ乏シクシテ支那銀行ノ紙幣ノミ市場ニ流通致居シタメ何レモ確實ナル銀行ノ銀行券発行ヲ切望致居リ候狀況」であるので「一弗、五弗、拾弗、五拾弗、百弗ノ五種銀行券ヲ漸次發行仕」たいと九月四日付で当局に申請し、³¹認可を受けて、二十八日に印刷局に発注した。これらの弗券八萬枚は翌九年二月に完成し濟南支店に送付したものの、³²中国での対日感情の悪化など情勢の中で発行は見送られ、後述のとおり二一年発行の哈爾賓支店銀行券に転用されるなど青島支店で全て保管されることになった。その後濟南での発行見込みは全く立たず、二七年に至り青島支店保管中の濟南支店銀行券二十萬枚は同支店で焼却処分となった。³³この意味で濟南支店銀行券は幻の銀行券といえる。

⑧哈爾賓出張所（一九一九年支店昇格）

哈爾賓（ハルビン）支店は一九二二年十一月に開設し、一九年五月青島や濟南とともに支店に昇格した。北滿州に位置するハルビン地域は、すでに中国銀行や交通銀行などが同地通用の銀券を発行しており、さらに露亜銀行など外国銀行も銀券の発行をおこない、それらが流通している状況であった。そのなかで新たに「英国側銀行モ亦發行スルニ至ルコトナラント被察」状況となったことから、哈爾賓支店でも同

様に銀券を急ぎ発行する必要があるとし、「大連支店発行銀券ノ様式ニ準シ大洋銀ヲ本位トスル銀行券一元券、五元券、十元券、百元券」の発行を、二一年四月十四日に申請した³⁴。同月二十六日に当局の許可を得たが、「印刷局ニ於テ印刷相願居候テハ到底間ニ合」わないので、全く未発行のままであつた濟南支店銀行券を改竄して使用することになつた³⁵。前述のとおり濟南支店銀行券は弗券一弗券（イ号）・五弗券（ロ号）・十弗券（ハ号）の三種類しかなかったため、同年五月十日付申請により五十弗と百弗の高額券は上海支店のX号及びY号銀行券を改竄して使用することとなつた。改竄券を依頼する一方で、哈爾濱支店独自の銀行券四種（一弗、五弗、十弗、百弗）合計二十万二千枚の製造も印刷局へ依頼している³⁷、翌年三月に完成し、翌月より哈爾濱支店で発行を開始したが、同地での銀行券の流通は不活発であつた。

おわりに

以上見たような経緯をたどり横浜正金銀行の在中国各支店は一覧払手形及び銀行券を発行してきた。従来、『図録日本の貨幣』では九十三種が発行されたとあるが、表3のとおり実際には八十九種類しか発行されていない。『図録日本の貨幣』は、未確認の銀行券を含めているが、「諸願伺留書」に収載されている正金銀行が大蔵省や印刷局に提出した資料に基づくと、未確認の銀行券は存在しないようである。

また、正金銀行券の券面の様式についても「様式の上ではあまり大きな変化がなく」「券種の様式は、大差ない物が多い」としているが、

当館で所蔵する銀行券を詳しく調査した結果、様式としては九種十五タイプにわけられることが判明した。その一覧は表4のとおりで、その主なものは図2で示した。なかでも興味深いのは図3に見るように、同じ様式でも双龍や正金銀行本店建物の画像が微妙に異なっている点である。双龍については、宝珠の中心から左右の龍鼻先までの距離が異なるだけでなく、尾の形状、前足の爪の形状など微妙な差違があり、六タイプにわけられることが判明した。本店建物についても九つのタイプにわけられる。前述したように一九〇四（明治三十七）年七月落成の建物とはプロポーションが異なり、屋上のバラストレードの形状も異なるだけでなく、建物の細部や、道路の人物の数や車両の有無など細かな差違があることも判明した。これら画像の微妙な違いは、正金銀行券の偽造対策として施されたものとはほぼ断定できるが、その確証となる資料を見つけることはできなかった。

当館の前身県立博物館が開館（一九六七年）した際、一階常設展示の一部に横浜正金銀行資料展示室が設けられ、各種資料にまじって横浜正金銀行券も展示されていた記録がある。当時は東京銀行からの借用資料であつたが、現在は当館の所蔵へと変わり、再び展示室内で紹介される日が近く訪れるものと思われる。その日のために、さらに銀行券や横浜正金銀行についての調査研究を続けることが、残された課題である。

註

（1）「諸願伺留書」明治三十五年、マイクロフィルム横浜正金銀行 第一集。

以下「諸願伺届留書」の記載は「諸願伺一年」と略記する。

- (2) 『印刷局沿革誌』(明治四十年、印刷局発行)には、「此年(一九〇二年・明治三十五年引用者注)横浜正金銀行清国持参人払手形各種原版落成」と記載され、同年六月には一円、五円、十円の「透込手形用紙」の抄造を開始したとある。また同年十月三日には「横浜正金銀行持参人払約束手形各種ノ印刷二着手」とある。

- (3) 『第二回東洋支店長会議録』第二巻、一三一頁、(明治四十二年、横浜正金銀行)

- (4) 前編『研究報告』第三十四号)の註(12)を参照。

- (5) 地模様とは券面の下地に印刷されている彩紋や輪郭模様を意味し、上模様は図像や行名・支店名の飾り窓枠などのことである。

- (6) 日本銀行調査局編『図録日本の貨幣』一三八頁(昭和五十年、東洋経済新報社)

- (7) 記

一 横浜正金銀行持参人払約束手形 壹円 壹百万枚

但牛莊分L号 自式〇、〇〇壹番 至〇壹〇、〇〇〇番

一同上 五円 四拾万枚

但牛莊分M号 自壹〇、〇〇〇壹番 至〇四壹〇、〇〇〇番

一同上 拾円 式拾万枚

但牛莊分N号 自五、〇〇壹番 至〇式五、〇〇〇番

右各種トモ裏面漢文「牛莊通用英洋」トアルヲ「牛莊通用円銀」ト

改訂相成度

右至急御製造被成下度此段相願候也

明治三十八年七月七日

横浜正金銀行

印刷局長 得能通昌 殿

副頭取 三崎亀之助

(諸願伺—明治三十八年)

- (8) 前編『研究報告』第三十四号)の註(17)を参照

(9)

本年九月二十八日付ヲ以テ当銀行ノ満州ニ於テ発行スル銀行券様式及種類等御認可願出翌十月十六日付官房秘第二七〇五号ヲ以テ願出ノ通り御認可ヲ経テ右銀行券製造方英国ヘ注文致置候処今回在英京高橋頭取ヨリ別紙写ノ通り電報有之就テハ該銀行券面ニ支払場所ヲ at the office here ト記載方御認可相成様致度同電報中申越ノ券面ニ家屋ノ図又ハ相像印刷ノ選択方高橋頭取ヘ一任致度候間併セテ御認許被成下度此段奉申請候也

明治三十九年十一月二十九日 横浜正金銀行頭取代理

取締役 山川勇木

外務大臣子爵 林 董 殿

大蔵大臣法学博士 阪谷芳郎 殿

(別紙)

在英京高橋頭取ヨリ來電写

明治三十九年十一月二十七日付

正金銀行銀券面支払場所 at the office here ト記載セサルトキハ正金銀行各店ニテ金高無制限ニ直チニ引換義務ヲ有スルコト、ナリ發行銀行ニテハ此上ノ危険之レナキ故ニ大連支店ニ非サレハ他ノ店ニ於テハ其時ノ都合ニ依リ断リ得ヘキ余地ヲ作り置クコト大切トハ当地銀行者意見ニ候尤モノ次第二付政府ヘ認可請求相成度又券面ニ家屋又ハ相像印刷候事偽造等防クニ便ナリト印刷会社ノ注意此事見計可然哉

(10)

(諸願伺—明治三十九年)

弊行大連支店發行銀行券ノ實際市場ニ流通スル現況ニ徴スルニ大券ヲ發行致候方取引上頗ル便利ト存候ニ付従来ノ一円券五円券拾円券以外ニ新ニ別紙様式ニ準シ百円券ヲ發行致度候間御認可被成下度此段奉願候也

明治四十五年七月十七日 横浜正金銀行

副頭取 井上準之助

内閣総理大臣
大蔵大臣
外務大臣
宛
〔諸願伺—大正元年〕

(11) 前編〔『研究報告』第三十四号〕の註(19)(20)を参照

(12) 大正二年七月四日付申請同月十六日往第七〇五七号ヲ以テ御認可ヲ得弊行大連支店ニ於テ発行致候金貨又ハ日本銀行兌換券ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ儀紙質ノ過大ナルト意匠ノ精巧ヲ欠キタル為メ一般公衆ノ氣受ケ甚々宜シカラス候ニ付同券壹円、五円、拾円ノ三種類ヲ別紙下図(下図ハ壹円券ニ候得共五円券、拾円券モ大同小異ニ御座候)ノ通り改造仕リ出来發行ノ上ハ旧券ハ回収セラル、ニ從ヒ漸次廢棄致度候間御認可被成下度此段奉願上候也

大正四年七月七日 横浜正金銀行
副頭取 山川勇木

大蔵大臣
外務大臣
宛

〔諸願伺—大正四年〕

(13) 昨年五月二日付印刷局ヘ注文致候旨御届申上候大連支店拾円券金券C号自一五〇、〇〇〇至二一〇〇、〇〇〇番五万枚ハ其注文ヲ取消シ半製ノ儘印刷局ヨリ受領追テ燒棄可致候間此段御届申上候也

大正七年二月九日 横浜正金銀行
総支配人 鈴木嶋吉

大蔵大臣
外務大臣
宛

〔諸願伺—大正七年〕

時局ノ為メ弊行滿州各店ニ於ケル支那銀行筋預金引出ニ応スル為メ至急弊行大連支店未發行銀行券ヲ準備致ス必要有之候処新規印刷間ニ合ヒ兼ネ候ニ就キテハ左記支店ノ未發行券ヲ左記範圍内ニ於テ改竄致シ發行セシメルコトニ致度候間御認可被成下度此段奉願上候也

青島支店 壹百円券 貳万枚
天津支店 壹百円券 壹万枚
北京支店 壹百円券 八千枚
昭和三年五月三十日 横浜正金銀行
頭取 児玉謙次

大蔵大臣 三土忠造 殿
外務大臣男爵 田中義一 殿
〔諸願伺—昭和三年〕

(15) 明治參拾九年九月貳拾八日願出同年拾月拾六日官房秘第二七〇五号ヲ以テ御認可ヲ得候当行大連支店ノ發行スル銀行券ノ内五拾銭券及拾銭券ハ製造見合セ居候処近時滿州各地ニ於テ小額銀行券ノ必要著シク増加シ兩銀ノ授受等ニ不便ヲ感シ居候ニ付テハ已ニ御認可ヲ得居候様式ヲ變更シ別紙青島支店發行小額銀行券ノ様式ニ準シ五拾銭券及拾銭券ヲ製造致度候間御認可被成下度此段奉願上候也

昭和四年拾二月拾日 横浜正金銀行
頭取 児玉謙次

大蔵大臣 井上準之助 殿
外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿
〔諸願伺—昭和四年〕

記

一 横浜正金銀行持參人私約束手形 壹百枚

内

壹百円 上海ノ分 五拾枚
五拾円 同上 五拾枚

但シ見本用ニ付記番号ハ単ニX又ハY何番トシ
適宜ノ処ニ「此票様式不得通用」[Specimen] 刷入之事
右御製造相成度及御依頼候也

(年月日欠)

横浜正金銀行頭取代理

山川勇木

印刷局長 神野勝三郎 殿

(諸願伺—明治四十一年)

(17)

弊行上海支店發行銀行券拾円券ノ儀發行高追テ増加致候結果手許未發行
券少額ト相成候ニ付今回本邦印刷局ニ於テ増刷相願度ト存候処從來ノ銀
行券ハ様式稍々簡ニ過キ贗造セラレ易キ虞有之候間今日増刷ノ分ヨリ別
紙様式ノ通り相改メ漸ヲ以テ旧様式ノ分ヲ引上ケ遂ニハ新様式ノモノニ
シテ流通セシムルコトニ致度奉存候ニ付右様式変更ノ件ヲ認可被成下度
此段奉願上候也

大正二年十二月十日 横浜正金銀行

副頭取 山川勇木

(宛先欠)

(諸願伺—大正二年)

(18)

一 横浜正金銀行上海支店銀行券

記

自B三四〇、〇〇一 五弗券 二十万枚
至B五四〇、〇〇〇 番
自Z〇五〇、〇〇一 十弗券 五万枚
至Z一〇〇、〇〇〇 番

自X〇〇五、〇〇一 五十弗券 一万枚
至X〇一五、〇〇〇 番

自Y〇〇五、〇〇一 一百弗券 五千枚
至Y〇一〇、〇〇〇 番

右御製造被成下度此段御願申上候也

大正七年三月七日

横浜正金銀行 総支配人

鈴木嶋吉

印刷局長 池田敬八 殿

(諸願伺—大正七年)

(19)

先般持参眞贋御鑑定相願候弊行天津支店發行銀行券拾円券壹枚御鑑定相
濟候上ハ鑑定書御下付被成下度此段奉願上候也

昭和三年四月十一日 横浜正金銀行

副頭取 武内金平

内閣印刷局長 杉精三 殿

(諸願伺—昭和三年)

(20)

支那国天津ニテハ両銀ヲ本位トシ弗銀ハ日常ノ小取引ニ使用セラル、ニ
過キサル状態ナリシヲ以テ從來弊行天津支店ニ於テ發行セル銀行券ノ種
類ハ壹弗券五弗券拾弗券及五兩券拾兩五拾兩券百兩券ノ七種ニ御座候処
支那政府ノ方針弗銀本位トナリ中国交通兩銀行ニ於テモ弗銀券ヲ發行致
候以來弗銀ニテ大口取引ノ行ハル、ニ至リ從テ同地日本官民間ニ於テモ
弗銀大券ノ發行ヲ希望セラル、向不少候ニ付已ニ發行致居候弗銀券ノ様
式ニ準シ新ニ券面百弗ノ銀行券發行爲致度候間御認可被成下度此段奉願
候也

大正六年八月二十三日 横浜正金銀行

(21)

大蔵大臣
外務大臣
〔諸願伺―大正六年〕

副頭取 山川勇木

北支ニ於ケル邦人ノ發展ニ伴ヒ弊行天津支店發行銀行券流通高漸増ノ趨勢ニ有之候為メ同店未發行銀行券ヲ準備致ス必要有之候処新規印刷間ニ合ヒ兼不候ニ就テハ青島支店ノ未發行券ヲ左記範圍内ニ於テ修補致發行セシムルコトニ致度候間御認可被成下度此段奉願上候也

壹円券 参万枚
五円券 参万六千枚
百円券 参千枚

昭和拾貳年二月式拾参日 横浜正金銀行

頭取 大久保利賢

大蔵大臣 結城豊太郎 殿
外務大臣 林 銑十郎 殿

〔諸願伺―昭和十二年〕

(22)

北京支店銀行券發行認可願

従来北京支店ニ於テハ便宜上天津支店發行ノ銀行券ヲ共通行使仕居候処近來天津北京間弗銀相場ノ差異アルトキ此ノ差益ヲ得ルノ目的ヲ以テ該銀行券ヲ弗銀ノ現送ニ代用スルモノ続々相生シ北京支店ニ於テハ之レカ引換ノ為メ天津支店ヨリ弗銀ノ現送ヲ要スルコト屢々有之其不利不便少カラサル実況ニ有之候現ニ在北京ノ外国銀行ニテハ此辺ノ利害ヲ慮リ各自別々ニ紙幣ヲ發行シテ兩地間ノ共通ヲ相避ケ居申候就テハ弊行北京支店ニ於テモ新ニ銀行券ヲ發行シ以テ前述ノ如キ共通行使ヨリ生スル不利益ヲ相避ケ度今回重役会ニ於テ決議仕候間此段御認可被成下度尤モ其様式ハ大体従來天津支店發行ノ分ニ準拠シ只々其着色及署名ヲ異ニスルノ

(23)

ミニ有之而シテ其種類ハ差向キ壹円、五円、拾円、五拾円ノ四種ト相定メ度候間此儀併セテ御認可被成下度奉願上候也
明治四十三年一月二十六日 横浜正金銀行頭取代理
取締役 山川勇木

大蔵大臣侯爵 桂 太郎 殿
外務大臣伯爵 小村寿太郎 殿
追テ本文銀行券ノ義ハ製造出来ノ上更ニ標本添へ御届可仕候間此段添テ上申仕候也
〔諸願伺―明治四十三年〕

当行北京支店發行銀行券ハ従來壹円券、五円券、拾円券、五拾円券ノ四種類（明治四十三年一月二十六日附申請同年二月十八日附官房秘第四〇号御認可）ニ有之候処同地市場ノ状態ニ照シ更ニ二百円券ヲモ發行致度候ニ付天津支店發行百円券ト略同様ノモノニ色彩等幾分変更ヲ加ヘタルモノ新ニ製造發行ノ件御認可被成下度此段奉願上候也
昭和元年拾貳月二十九日 横浜正金銀行

頭取 児玉謙次

大蔵大臣 片岡 直温 殿
外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿

〔諸願伺―昭和元年〕

(24)

弊行青島出張所ヲ大正二年九月十八日付第八七四二号ヲ以テ御認可ヲ得候横浜正金銀行券並ニ準備ノ出納保管規程第十條所定ノ受託者トシ大連支店ノ未發行銀行券發行（極度予想五十万円）及其引換ノ事務ヲ取扱ハシメ且同出張所ニテ發行セルモノハ別紙様式ノ通り改竄發行セシメ此種ノモノハ青島出張所ニ限りテ引換スルコトニ致度候間大正二年七月三日付官房秘第一九五号第六條ノ除外例トシテ御認可被成下度此段奉願候也

大正三年十二月十二日 横浜正金銀行

副頭取 山川勇木

大蔵大臣 若槻礼次郎 殿

外務大臣男爵 加藤 高明 殿

(諸願伺—大正三年)

(25) 昨年十二月十二日付申請本月八日付往第九五九号ヲ以テ御認可ヲ得發行青島出張所ニ於テ代理發行ノ目ヲ以テ改竄ヲ加ヘタル弊行大連支店未發行券拾円銀券五千枚、五円銀券壹万枚壹円銀券壹万枚此金額銀拾壹万円也ハ昨十一日榊丸ヲ以テ大連支店ヨリ青島出張所ヘ發送致候ニ付此段御届申上候也

大正四年二月十二日 横浜正金銀行

頭取 井上準之助

大蔵大臣

外務大臣

(宛)

追テ記番号ハ報告到達ノ上更ニ御届申上候

(諸願伺—大正四年)

(26) 弊行青島出張所ニ於テハ滿州以外ノ支那各店ト同様其銀行券ヲ發行シテ青島ニ於ケル軍票回収後ノ通貨統一ノ任ニ当ル可キ旨予テ御内示モ有之候処新券ノ製造ニハ原版ノ彫刻、用紙ノ抄造、印刷等ニ數ヶ月ヲ要スル予定ナルニ我軍ノ青島攻陥後銀行券ノ發行ハ一日モ忽ニスヘカラサル場合ニ立至リ止ムヲ得ス大連支店ノ銀券發行受託店トシテ同店ノ銀券ヲ改鼠發行シ青島出張所ニ限リテ之ヲ引換エル候様ノ取扱ニ付御認可申請仕リ本年二月八日御認可ヲ得テ同三月四日ヨリ發行致候処軍票ノ回収セラ、ト共ニ同地ノ通貨欠乏ノ折柄僅ニ三週余日ニシテ総額拾八万円以上ノ流通ヲ見タル好成绩ヲ挙ケ候得共何分改鼠券ノ事ナレハ一般公衆特ニ支那人ハ授受ノ際多少ノ疑念ヲ抱キ候趣ニ付当初御内示ノ趣旨ニ基キ他ノ滿州以外ノ支那各店同様青島出張所ニ於テ別紙様式ニ依リ銀ヲ以テ引

換フヘキ銀行券發行仕度幸ニ御認可ヲ得候上ハ早速印刷局ニ製造方願出テ印刷出来次第青島へ發送シ之カ發行ニ着手スルト同時ニ青島出張所カ大連支店ノ銀券發行受託店タル任務ヲ解キ既ニ市場ニ流通セル改鼠券ハ正貨若クハ新券ト引換工可成迅速ニ回収仕候上成規ニ依リ廢棄可仕候間事情御諒察ノ上速ニ御認可被成下度此段奉願上候也

大正四年四月十日 横浜正金銀行

大蔵 両大臣

外務

(諸願伺—大正四年)

記

一 横浜正金銀行青島出張所銀行券

壹円券 いろ

自〇、〇〇〇、〇〇一 番

拾五万枚

五円券 ろ号

自〇、〇〇〇、〇〇一 番

拾五万枚

拾円券 は号

自〇、〇〇〇、〇〇一 番

拾壹万枚

右御製造被成下度此段御願申上候也

大正四年五月四日 横浜正金銀行

副頭取 山川勇木

印刷局長 佃一誠 殿

(諸願伺—大正四年)

(28) 支那国青島ノ補助貨トシテハ同地カ独逸租借地タリシ当時ニハ同地政庁鑄造ノ白銅貨及小銀貨ヲ補助貨トシテ使用シ(滿州其他ノ如ク支那小銀貨ノ流通ヲ見ス)今日ニ至リシカ軍票小札ハ流通ノ劇シキト紙質ノ宜シ

カラサル為メ毀損甚シク官民其不便ヲ唧チツ、アリ殊ニ早晚改修セラレヘキモノナルヲ以テ其曉ニハ官民ノ不便更ニ甚シカルヘク且ツ此欠陥アルカタメニ支那小銀貨流入ニ一層同地通貨ノ錯雜ヲ来ス恐モ有之候間軍票回収後同地ニ通貨統一ノ任ニ当ルヘキ旨予テ御内示ノ旨趣ヲ体シ大正四年五月三日付往第三四二九号ヲ以テ御認可ヲ得候様式ニ準シ先ツ以テ拾枚ヲ以テ銀塊壹枚ト引換フヘキ拾錢券、貳枚ヲ以テ円形銀塊壹枚ト引換フヘキ五拾錢券ノ兩種補助銀行券ヲ發行致度候間御認可被成下度此段奉願上候也

大正五年十一月十七日 横浜正金銀行

副頭取

大藏大臣
宛
外務大臣

(諸願伺—大正五年)

従来弊行漢口支店ニ於テハ銀行券ヲ發行セス曾テ上海支店ノ銀行券代理發行方相試ミ候事ニ有之候得共同地通用弗銀ヲ異ニスル為メ其実行ヲ見ス今日ニ至リ候処近來同地支那銀行發行ノ銀行券其信用ヲ失スルニ伴ヒ市価ニ於テ同地通用弗ト引換ヘ得ヘキ確實ナル銀行ノ銀行券發行ヲ切望致居候狀況ニ付此機会ヲ以テ別紙様式ニ準拠シ壹弗、五弗、拾弗、五拾弗、百弗ノ五種銀行券ヲ漸次發行仕度候間御認可被成下度此段奉願上候也

大正六年三月十六日 横浜正金銀行

副頭取 山川勇木

大藏大臣
宛
外務大臣

(諸願伺—大正六年)

弊行漢口支店未發行銀行券百円券四千九百九拾七枚、拾円券貳万九千九百貳拾壹枚、五円券五万九千八百參拾枚及壹円券九万九千參

百七拾壹枚ハ過般來同地方状態不穩ノ為メ上海支店ヘ転送シ目下同支店ニ於テ保管中ニ有之右ノ内廢棄ヲ要スル分ハ上海支店ニ於テ打貫ノ上燒棄致度存候処弊行銀行券廢棄手續第三條ニ拠レハ未發行券ノ燒棄ハ本店又ハ發行店ニ於テ行フコト、相成居候得共現今多額銀行券ヲ現送致候コト危險不少ト存候ニ付上記漢口支店未發行券ハ上海支店ニ於テ便宜燒棄為致度候間特別ノ御詮議ヲ以テ御承認被成下度此段奉願上候也

追テ右銀行券燒棄ノ上ハ其都度御報告可申上候

昭和貳年五月貳拾六日 横浜正金銀行

頭取 児玉謙次

大藏大臣 高橋是清 殿
外務大臣男爵 田中義一 殿

(諸願伺—昭和二年)

弊行濟南支店ハ本年五月迄青島出張所ノ分店ニ有之且青島ニ於ケル本邦人ノ經濟的勢力カ濟南ヲ浸蝕スルニ從ヒ同地ニ於テモ青島出張所發行ノ銀行券ノ流通ヲ見ルヘク予期致居候処濟南カ北洋弗流行地ナルガ為メ今日ニ至ルモ青島出張所ノ銀行券ハ同地ニ通用不致而シテ同地ニ通用スル北洋弗ノ硬貨ハ甚タ乏シクシテ支那銀行ノ紙幣ノミ市場ニ流通致居シタメ何レモ確實ナル銀行ノ銀行券發行ヲ切望致居候狀況ニ有之候処先般濟南分店ヲ支店ニ變更致候ニ付此機会ヲ以テ別紙様式ニ準拠シ壹弗、五弗、拾弗、五拾弗、百弗ノ五種銀行券ヲ漸次發行仕度候間御認可被成下度此段奉願上候

大正八年九月四日 横浜正金銀行

副頭取 鈴木嶋吉

大藏大臣
宛
外務大臣

(別紙様式ハ漢口五円券ヲ模写シタリ)

(諸願伺—大正八年)

(32)

本月二日付ヲ以テ印刷局ヨリ受領ノ旨御届申上置候弊行濟南支店發行銀行券五弗券口号自〇〇〇・〇〇壹番至〇五〇・〇〇〇番五万枚此金額貳拾五万弗ハ本日当地出帆山城丸ニテ神戸ヨリ西京丸ニ積替同支店ヘ向ケ發送致置候間此段御届申上候也

大正九年二月十日 横浜正金銀行

副頭取 鈴木嶋吉

外務大臣子爵 内田康哉 殿

大藏大臣男爵 高橋是清 殿

(諸願伺—大正九年)

(33)

弊行濟南支店未發行銀行券中現在弊行青島支店ニ於テ保管中ノモノ

一、壹円券 拾四万枚

一、五円券 四万枚

一、拾円券 貳万枚

有之候処時局ニ鑑ミ至急燒棄致度存候然ル処弊行銀行券廢棄手續第參條ニ拠レバ未發行券ノ燒棄ハ本店又ハ發行店ニ於テ行フコト、相成居候得共現今多額銀行券ヲ現送致候コト危険不少ト存候ニ付上記濟南支店未發行券ハ青島支店ニ於テ便宜燒棄為致度候間特別ノ御詮議ヲ以テ御承認被成下度度此段奉願上候也

猶上記銀行券ノ記号番号ハ追而燒棄調書ヲ以テ御届可申上候

昭和貳年四月貳拾八日 横浜正金銀行

頭取 児玉健次

大藏大臣 高橋是清 殿

外務大臣男爵 田中義一 殿

横浜正金銀行監理官 松本 脩 殿

(諸願伺—昭和二年)

(34)

北滿州哈爾濱ニ於テハ中国銀行及交通銀行ニ於テ同地通用ノ銀券ヲ發行致シ居リ候処今回同地 International Banking Corporation 及 Russo Asiatic Bank ニ於テモ銀券ヲ發行シ東清鐵道ハ之ヲ受入ル、事ニ決定シタル趣ニ有之々々ニ関スル同鐵道ノ技術部會議ノ席上ニ於テ英國委員ハ各外国銀行ニ於テモ銀券ヲ發行スル方可然ト發言シタルヤニ聞及候間英國側銀行モ亦發行スルニ至ルコトナラント被察候就テハ弊行ニ於テモ哈爾濱支店ヲシテ同様銀券ヲ發行為致度存候間大連支店發行銀券ノ様式ニ準シ大洋銀ヲ本位トスル銀行券壹元券、五元券、拾元券、百元券ノ發行方御認可被成下度此段奉願上候也

大正十年四月十四日 横浜正金銀行

頭取 梶原仲治

大藏大臣子爵 高橋是清 殿

外務大臣子爵 内田康哉 殿

(諸願伺—大正十年)

(35)

先月二十六日官房秘令第二三三號ヲ以テ御認可ヲ得候哈爾濱支店發行銀行券ノ儀ハ至急發行ヲ要スル事情有之印刷局ニ於テ印刷相願居候テハ到底間ニ合ヒ不申候間不取敢昨年二月二十八日、同三月三十日、同四月二日ヲ以テ印刷局ヨリ受領ノ旨御届申上今本店ニ保管中ナル濟南支店發行銀行券ニ別紙見本ノ通り改竄ヲ加ヘ發行スルコトトシ左記改竄券ハ本月六日書留郵便ニテ哈爾濱支店向發送致候間此段御届申上候也

壹弗券 イ号 自四四九、九九七号 至四五〇、九九六号 五千枚

自四五二、〇〇一 至四五五、〇〇〇号

自一六九、七〇一 至一七〇、〇〇〇号

自一七〇、三〇一 至一七五、〇〇〇号

自六六、二二九 至六九、〇〇〇号

拾弗券 ハ号 自七三、〇〇一 至七三、二〇〇号 參千枚

自七三、二七三 至七三、三〇〇号

大正十年五月七日 横浜正金銀行

副頭取 鈴木島吉

大蔵

外務 両大臣宛

〔諸願伺―大正十年〕

ハ爾賓支店発行銀行券百元券ノ儀ハ本月七日附御届申上候ト同様ノ事情ニ依リ去ル大正八年二月二十七日付ヲ以テ御届申上候通り既ニ上海支店ヘ送付シタル同店銀行券百弗券ヲ本店ヘ逆送為致之ニ別紙見本ノ通り改竄ヲ加ヘ発行スルコトトシ左記改竄券ハ本月十三日書留郵便ニテハ爾濱支店向發送仕候間此段御届申上候也

百弗券 自Y七、七〇一至Y一〇、〇〇〇 貳千參百枚

大正十年五月十四日 横浜正金銀行

副頭取 鈴木嶋吉

大蔵大臣子爵 高橋是清 殿

外務大臣伯爵 内田康哉 殿

〔諸願伺―大正十年〕

(37)

記

一 横浜正金銀行北京支店銀行券五拾弗券

自AE〇二〇、〇〇一 壹万枚

至AE〇三〇、〇〇〇

一 横浜正金銀行青島支店銀行券壹円券

自い号四五〇、〇〇一

至い号五五〇、〇〇〇

拾万枚

一 同

拾錢券

自一、〇〇一

但千枚通番トス 五拾万枚

至一、五〇〇

一 横浜正金銀行哈爾濱支店銀行券壹弗券

自ト号〇〇〇、〇〇一

拾万枚 (外二見本貳百枚)

至ト号一〇〇、〇〇〇

一 同

五弗券

自チ号〇〇〇、〇〇一

四万枚 (外二見本貳百枚)

至チ号〇四〇、〇〇〇

一 同

拾弗券

自チ号〇〇〇、〇〇一

五万枚 (外二見本貳百枚)

至チ号〇五〇、〇〇〇

一 同

百弗券

自チ号〇〇〇、〇〇一

壹万貳千枚 (外二見本貳百枚)

至チ号〇一二、〇〇〇

右御製造被成下度此段御願申上候也

大正十年五月二十六日 横浜正金銀行

副頭取 鈴木嶋吉

印刷局長 池田敬八 殿

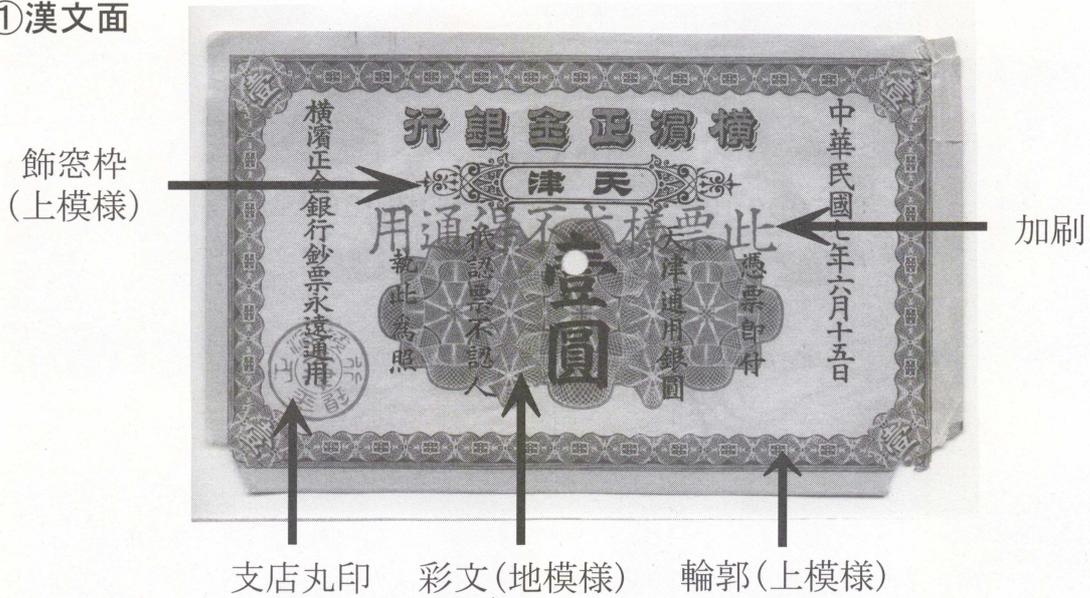
〔諸願伺―大正十年〕

〔付記〕

本稿執筆にあたり当館の学芸部吉澤智恵子氏、祝園麻起子氏に資料の整理及び写真撮影などご協力をいただいた。支配人名などの解説には正友会のご協力を得た。また当館のホームページのデジタルミュージアム・横浜正金銀行で横浜正金銀行券の主なるものを公開しているので合わせて参照されたい。(http://chkanagawa-museum.jp)

図1 横浜正金銀行券の様式

①漢文面



②英文面



③漉かし

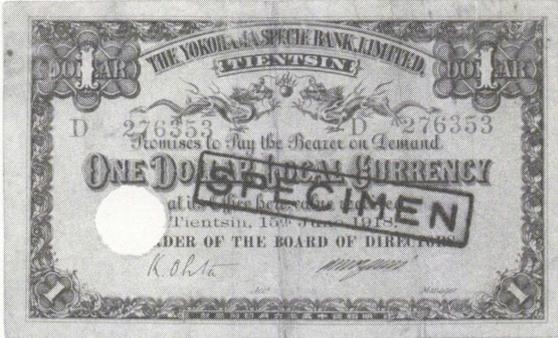


図2 横浜正金銀行券タイプ別

英文面

タイプI-1

漢文面



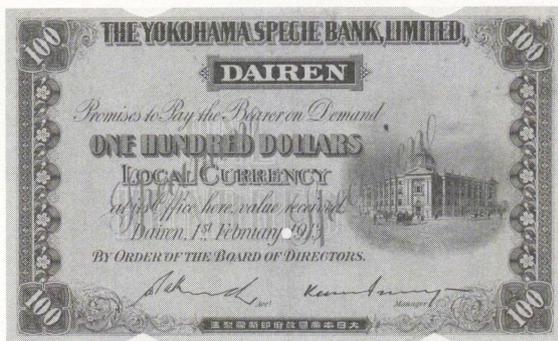
タイプI-2



タイプII



タイプIII



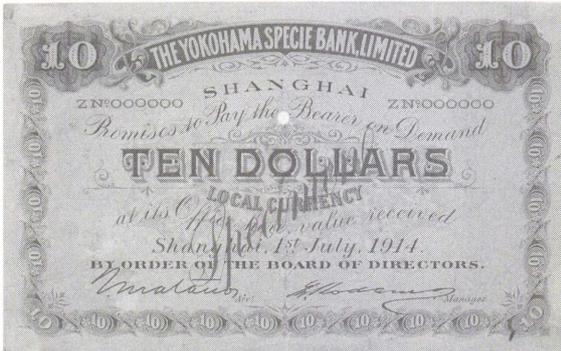
英文面

タイプIV

漢文面



タイプV



タイプVI-1



タイプVII-1



英文・漢文面

タイプVII-4

和文面



タイプVIII



タイプIX-1



タイプIX-2



図3 図像（双龍・本店）のタイプ

タイプI-1



タイプI-2



タイプIV



タイプVI-1



タイプVI-2



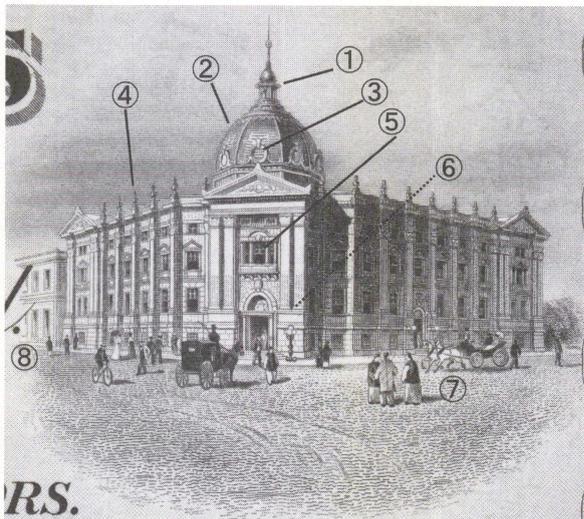
双龍の主な差異

- ①玉から龍の鼻先までの距離
- ②髭の長さや形状
- ③足の位置と形状
- ④尻尾先の形状と向き
- ⑤玉の火炎形状

建物の主な差異

- ①ドーム塔屋(ランタン)
- ②ドームの丸み
- ③ドーム飾窓
- ④屋上バラストレード
- ⑤正面ベネチア窓
- ⑥大オーダー底部と石組み
- ⑦路上の人物数・車両・街灯
- ⑧隣接の家屋と樹木 など

タイプIV



明治37年7月竣工の横浜正金銀行本店



タイプV

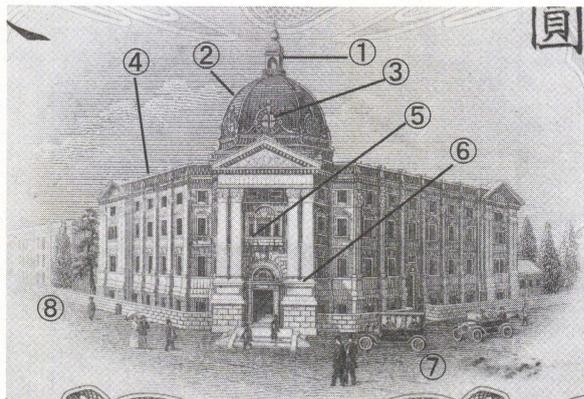


表 2 横浜正金銀行一覽私手形(銀行券)支店別製造經過

上海支店		印刷期注文日	開始番号	終了番号	備考	所蔵
本位 弗券	1弗	A号 明治35年4月11日 大正14年8月28日	000,001 ~ 200,001	200,000		○
	5弗	B号 明治35年4月11日 明治35年12月24日 明治36年2月18日 明治37年7月7日	000,001 ~ 040,000 040,001 ~ 060,001 ~ 140,000			○
		C号 明治35年4月11日 明治37年7月7日	000,001 ~ 020,000			○
		D号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 340,001	340,000	券面年月日変更	○
		E号 明治35年4月11日 明治35年11月30日 明治35年12月16日 明治36年5月18日 明治42年4月1日 大正7年3月7日	000,001 ~ 010,000 020,001 ~ 050,000 100,000 200,000			○
	10弗	F号 明治35年4月11日 大正15年3月7日	000,001 ~ 300,001	400,000		○
		G号 明治35年4月11日 明治35年11月30日 明治35年12月16日 明治36年5月11日 明治37年9月27日	000,001 ~ 010,000 010,001 ~ 030,001 ~ 060,000			○
		H号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 260,001		券面年月日変更	○
		I号 明治35年4月11日 明治35年12月16日 大正6年1月30日 大正6年5月24日 大正7年3月19日	000,001 ~ 005,000 005,001 ~ 140,001 170,001	005,000 010,000 020,000 120,000 170,000		○
		J号 明治35年4月11日 大正1年10月31日	000,001 ~ 002,000			○
K号 明治35年4月11日 大正1年10月31日		000,001 ~ 001,000	000,500 001,000		○	
50弗	L号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 005,000	005,000		○	
	M号 明治35年4月11日 明治35年12月16日 大正6年1月30日 大正6年5月24日 大正7年3月19日	000,001 ~ 005,000 005,001 ~ 140,001 170,001	005,000 010,000 020,000 120,000 170,000		○	
	N号 明治35年4月11日 大正1年10月31日	000,001 ~ 002,000			○	
	O号 明治35年4月11日 大正1年10月31日	000,001 ~ 001,000	000,500 001,000		○	
100弗	P号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 005,000	005,000		○	
	Y号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 005,000	005,000		○	

北京支店		印刷期注文日	開始番号	終了番号	備考	所蔵
本位 弗券	1弗	AB号 明治43年4月16日 大正8年5月14日	000,001 ~ 050,001	050,000 070,000		○
	5弗	BI号 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	080,000		○
		BC号 大正5年9月27日 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	200,000 040,000		○
		BD号 大正5年9月27日 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	050,000 050,000		○
		BE号 大正5年9月27日 明治45年5月1日 大正2年5月5日	000,001 ~ 002,000 006,001 ~ 012,000	002,000 006,000 012,000		○
	10弗	BF号 大正5年9月27日 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	150,000 020,000		○
		CG号 大正5年9月27日 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	020,000 020,000	記番号変更	○
		AD号 大正5年9月27日 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	050,000 050,000		○
		AE号 大正5年9月27日 明治45年5月1日 大正2年5月5日	000,001 ~ 002,000 006,001 ~ 012,000	002,000 006,000 012,000		○
		AF号 大正5年9月27日 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	020,000 020,000		○
AG号 大正5年9月27日 明治43年4月16日		000,001 ~ 000,001	010,000		○	
50弗	AH号 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	30枚		○	
	AI号 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	30枚		○	
	AJ号 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	30枚		○	
	AK号 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	30枚		○	
100弗	AL号 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	70枚		○	
	AM号 明治43年4月16日	000,001 ~ 000,001	70枚		○	

天津支店		印刷期注文日	開始番号	終了番号	備考	所蔵
本位 銀兩券	1弗	D号 明治35年4月11日 大正19年5月24日	000,001 ~ 020,000	010,000 020,000		○
	5弗	E号 明治35年4月11日 明治35年12月16日 明治36年5月18日 明治42年4月1日 大正7年3月7日	000,001 ~ 020,000 020,001 ~ 050,000 100,000			○
		F号 明治35年4月11日 大正15年3月7日	000,001 ~ 300,001	400,000		○
		G号 明治35年4月11日 明治35年11月30日 明治35年12月16日 明治36年5月11日 明治37年9月27日	000,001 ~ 010,000 010,001 ~ 030,001 ~ 060,000			○
		H号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 260,001		券面年月日変更	○
	10弗	I号 明治35年4月11日 大正6年1月30日 大正6年5月24日 大正7年3月19日	000,001 ~ 020,000 020,001 ~ 140,001 170,001	005,000 010,000 020,000 120,000 170,000		○
		J号 明治35年4月11日 大正1年10月31日	000,001 ~ 002,000			○
		K号 明治35年4月11日 大正1年10月31日	000,001 ~ 001,000	000,500 001,000		○
		L号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 005,000	005,000		○
		M号 明治35年4月11日 明治35年12月16日 大正6年1月30日 大正6年5月24日 大正7年3月19日	000,001 ~ 005,000 005,001 ~ 140,001 170,001	005,000 010,000 020,000 120,000 170,000		○
N号 明治35年4月11日 大正1年10月31日		000,001 ~ 002,000			○	
50弗	O号 明治35年4月11日 大正1年10月31日	000,001 ~ 001,000	000,500 001,000		○	
	P号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 005,000	005,000		○	
	Q号 明治35年4月11日 明治35年12月16日 大正6年1月30日 大正6年5月24日 大正7年3月19日	000,001 ~ 005,000 005,001 ~ 140,001 170,001	005,000 010,000 020,000 120,000 170,000		○	
	R号 明治35年4月11日 大正1年10月31日	000,001 ~ 002,000			○	
100弗	S号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 005,000	005,000		○	
	T号 明治35年4月11日 大正7年3月7日	000,001 ~ 005,000	005,000		○	

大連支店

本位	額面	記号	印刷原注文日	開始番号	終了番号	備考	所蔵
金券	1円	A号	大正2年7月18日	000,001	100,000		
			大正2年10月28日	100,001	200,000		
			大正3年10月28日	200,001	800,000		
			大正3年5月9日	800,001	810,000		○
			大正4年8月3日	000,001	300,000		
			大正2年11月1日	300,001	1,000,000		
			大正2年7月18日	000,001	100,000		
			大正2年10月9日	100,001	500,000		
			大正3年6月5日	500,001	510,000		
			大正4年11月1日	000,001	100,000		
金券	5円	B号	大正3年6月5日	000,001	100,000		
			大正3年11月1日	100,001	200,000		
			大正3年5月22日	200,001	300,000		
			大正2年7月18日	000,001	500,000		
			大正2年10月9日	500,001	1,500,000		
			大正4年10月9日	000,001	150,000		
			大正4年5月11日	150,001	200,000		
			大正4年5月22日	200,001	200,000		
			大正3年6月5日	000,001	010,000		
			大正3年11月1日	010,001	020,000		
金券	10円	C号	大正2年7月18日	000,001	300,000		
			大正2年10月9日	300,001	060,000		
			大正3年10月28日	060,001	060,000		
			大正3年5月9日	000,001	010,000		
			大正1年8月17日	000,001	010,000		
			大正1年4月22日	010,001	020,000		
			大正7年6月19日	020,001	040,000		
			大正7年11月16日	040,001	060,000		
			大正10年4月15日	060,001	100,000		
			大正14年5月13日	100,001	140,000		
金券	100円	D号	昭和3年5月29日	140,001	180,000		
			昭和3年5月30日	180,001	230,000		
			昭和3年5月30日	002,001	009,950		
			昭和3年5月30日	010,001	019,950		
			昭和3年5月30日	000,001	060,000		
			昭和3年5月30日	000,001	060,000		
			昭和3年5月30日	060,001	110,000		
			昭和3年5月30日	110,001	1000枚ごとに改番		
			昭和3年5月30日	1000枚ごとに改番	1000枚ごとに改番		
			昭和3年5月30日	1000枚ごとに改番	1000枚ごとに改番		
金券	1円	A号見本	大正2年7月18日	200枚	200枚		
			大正4年8月3日	200枚	200枚		
			大正2年7月18日	200枚	200枚		
			大正4年11月1日	200枚	200枚		
			大正2年7月18日	200枚	200枚		
			大正3年5月8日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
金券	5円	B号見本	大正2年7月18日	200枚	200枚		
			大正4年11月1日	200枚	200枚		
			大正2年7月18日	200枚	200枚		
			大正3年5月8日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
金券	10円	C号見本	大正2年7月18日	200枚	200枚		
			大正3年5月8日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
			昭和3年3月25日	200枚	200枚		
金券	100円	D号見本	昭和3年5月29日	200枚	200枚		
			昭和3年5月30日	200枚	200枚		
			昭和3年5月30日	200枚	200枚		
			昭和3年5月30日	200枚	200枚		
			昭和3年5月30日	200枚	200枚		
			昭和3年5月30日	200枚	200枚		
			昭和3年5月30日	200枚	200枚		
			昭和3年5月30日	200枚	200枚		
			昭和3年5月30日	200枚	200枚		
			昭和3年5月30日	200枚	200枚		

牛莊支店

本位	額面	記号	印刷原注文日	開始番号	終了番号	備考	所蔵
英洋券	1円	L号見本	明治35年9月8日	000,001	020,000		
			明治35年9月17日	000,001	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
英洋券	5円	M号見本	明治35年9月8日	000,001	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
英洋券	10円	N号見本	明治35年9月8日	000,001	1枚		
			明治35年9月17日	000,001	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
			明治35年9月17日	200枚	200枚		
英洋券	50円	V号見本	明治35年4月11日	000,001	003,000		
			明治35年4月11日	000,001	003,000		
			明治35年4月11日	000,001	003,000		
			明治35年4月11日	000,001	003,000		
			明治35年4月11日	000,001	003,000		
			明治35年4月11日	000,001	003,000		
			明治35年4月11日	000,001	003,000		
			明治35年4月11日	000,001	003,000		
			明治35年4月11日	000,001	003,000		
			明治35年4月11日	000,001	003,000		
英洋券	100両	W号見本	明治35年4月11日	000,001	001,000		
			明治35年4月11日	000,001	001,000		
			明治35年4月11日	000,001	001,000		
			明治35年4月11日	000,001	001,000		
			明治35年4月11日	000,001	001,000		
			明治35年4月11日	000,001	001,000		
			明治35年4月11日	000,001	001,000		
			明治35年4月11日	000,001	001,000		
			明治35年4月11日	000,001	001,000		
			明治35年4月11日	000,001	001,000		
英洋券	100両	X号見本	明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
英洋券	100両	Y号見本	明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		
			明治35年4月11日	000,001	005,000		

漢口支店

本位	額面	記号	印刷原注文日	開始番号	終了番号	備考	枚数
金券	1円	イ号	大正6年4月7日	000,001	100,000		
			大正6年4月7日	000,001	060,000		
			大正6年4月7日	000,001	030,000		
			大正6年4月7日	000,001	005,000		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
金券	5円	エ号	大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
金券	10円	オ号	大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
金券	100円	カ号	大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		
			大正6年4月7日	000,001	200枚		

青島支店	本位	額面	記号	印刷局注文日	開始番号	終了番号	備考	所蔵
銀券	10円	1000	大正4年2月以降	大正4年5月4日	000,001	10,000枚	大連支店銀行券(年括)を改竄	
				大正6年5月11日	150,001	250,000		
				大正7年9月7日	250,001	450,000		
				大正10年5月26日	450,001	550,000		
				大正11年9月22日	550,001	700,000		
				大正13年6月4日	700,001	800,000		
				大正15年5月7日	800,001	900,000		
				昭和2年6月13日	100,001	100,000	記番号(以)号を(保)号に変更	
				昭和2年11月11日	100,001	300,000		
				昭和3年12月14日	300,001	500,000		
銀券	5円	500	大正4年2月以降	大正4年5月4日	000,001	10,000枚	大連支店銀行券(年括)を改竄	
				大正4年12月20日	150,001	250,000		
				大正5年4月22日	250,001	350,000		
				大正5年9月15日	350,001	470,000		
				大正4年2月以降	000,001	5,000枚	大連支店銀行券(年括)を改竄	
				大正4年5月4日	110,001	160,000		
				大正4年12月20日	110,001	160,000		
				大正5年4月22日	160,001	210,000		
				大正5年9月15日	210,001	350,000		
				大正6年5月11日	350,001	440,000		
銀券	100円	1000	大正7年6月8日	大正7年6月8日	020,001	040,000		
				大正7年9月7日	020,001	040,000		
				大正9年9月22日	020,001	040,000		
				大正10年5月26日	020,001	040,000		
				大正7年3月7日	020,001	040,000		
				大正4年2月以降	020,001	040,000		
				大正4年7月8日	020,001	040,000		
				大正15年5月7日	020,001	040,000		
				大正4年7月8日	020,001	040,000		
				大正4年7月8日	020,001	040,000		
銀券	100円	1000	大正4年7月8日	大正4年7月8日	200枚	200枚		
				大正15年5月7日	200枚	200枚		
				大正4年7月8日	200枚	200枚		
				大正4年7月8日	200枚	200枚		
				大正4年7月8日	200枚	200枚		
				大正4年7月8日	200枚	200枚		
				大正4年7月8日	200枚	200枚		
				大正4年7月8日	200枚	200枚		
				大正4年7月8日	200枚	200枚		
				大正4年7月8日	200枚	200枚		

哈爾濱支店	本位	額面	記号	印刷局注文日	開始番号	終了番号	備考	所蔵
銀券	100円	1000	大正10年5月	大正10年5月	449,997	459,996	濟南支店銀行券イ号を改竄	
				大正10年5月26日	451,001	500,000		
				大正10年5月	000,001	100,000		
				大正10年5月	179,701	170,000		
				大正10年5月26日	170,501	200,000	濟南支店銀行券ロ号を改竄	
				大正10年5月	000,001	040,000		
				大正10年5月	66,229	69,000		
				大正10年5月	73,001	73,200	濟南支店銀行券ハ号を改竄	
				大正10年5月26日	73,273	100,000		
				大正10年5月26日	000,001	050,000		
銀券	50円	500	大正10年5月	大正10年5月14日	4800枚	4800枚	上海支店銀行券イ号を改竄	
				大正10年5月14日	2300枚	2300枚	上海支店銀行券イ号を改竄	
				大正10年5月26日	012,000	012,000		
				大正10年5月	200枚	200枚	濟南支店銀行券イ号を改竄	
				大正10年5月26日	200枚	200枚		
				大正10年5月26日	200枚	200枚	濟南支店銀行券イ号を改竄	
				大正10年5月26日	200枚	200枚		
				大正10年5月26日	200枚	200枚		
				大正10年5月26日	200枚	200枚		
				大正10年5月26日	200枚	200枚		

濟南支店	本位	額面	記号	印刷局注文日	開始番号	終了番号	備考	所蔵
銀券	100円	1000	大正3年9月28日	大正3年9月28日	000,001	500,000		
				大正3年9月28日	000,001	200,000		
				大正3年9月28日	000,001	100,000		
				大正3年9月28日	000,001	100,000		
				大正3年9月28日	000,001	100,000		
				大正3年9月28日	000,001	100,000		
				大正3年9月28日	000,001	100,000		
				大正3年9月28日	000,001	100,000		
				大正3年9月28日	000,001	100,000		
				大正3年9月28日	000,001	100,000		

注記
 ①本表は、明治35年から昭和12年まで中国の各支店にて発行(一部未発行)した一覽払い手形(銀行券)の発行経過である。
 ②本表は、『諸願届書』(マイクロフィルム横浜正金銀行 第一集)により作成したが、一部年代や枚数に不明な箇所がある。
 ③本表以外に見本券についても掲載した。
 ④当館で所蔵する横浜正金銀行券については、該当箇所に○を付した。

表1 明治34年に印刷局に発注した横浜正金銀行一覽払手形

支店	券種	記号	額面	印刷枚数	寸法縦	寸法横	発行年月	用紙漉	漢文(日本文)面					英文面										
									上模様	地模様	文字	記番	図像	上模様	地模様	文字	記番	図像						
天津	弗券	D号	1円	1弗	10,000枚	2寸8分	4寸3分	1902年11月	凹漉	黒色	エンジ	黒色	赤色	なし	黒色	橙黄色	黒色	赤色	双龍					
上海	弗券	A号	1円	1弗	200,000枚	2寸8分	4寸3分	1902年12月																
牛莊	英洋券	L号	1円	1弗	20,000枚	2寸8分	4寸3分	1903年1月								縹色								
天津	弗券	E号	5円	5弗	10,000枚	3寸3分5厘	5寸3分5厘	1902年11月								縹色				黒色	赤色	双龍		
上海	弗券	B号	5円	5弗	40,000枚	3寸3分5厘	5寸3分5厘	1902年12月								縹色				黒色	赤色	双龍		
牛莊	英洋券	M号	5円	5弗	10,000枚	3寸3分5厘	5寸3分5厘	1903年1月								縹色				黒色	赤色	双龍		
天津	弗券	F号	10円	10弗	5,000枚	3寸7分	5寸8分	1902年11月								縹色				黒色	赤色	双龍		
上海	弗券	C号	10円	10弗	20,000枚	3寸7分	5寸8分	1902年12月								縹色				黒色	赤色	双龍		
牛莊	英洋券	N号	10円	10弗	5,000枚	3寸7分	5寸8分	1903年1月								縹色				黒色	赤色	双龍		
牛莊	銀両券	S号	1両		5,000枚	2寸8分	4寸3分	1903年1月	凹漉	黒色	橙黄色	黒色	赤色	双龍	黒色	縹色	黒色	赤色	本店					
天津	銀両券	G号	5両		5,000枚	3寸3分5厘	5寸3分5厘	1902年11月								縹色				緑青色				
牛莊	銀両券	T号	5両		3,000枚	3寸3分5厘	5寸2分5厘	1903年1月								縹色				縹色	薄墨色	黒色	赤色	本店
天津	銀両券	H号	10両		2,500枚	3寸7分	5寸8分	1902年11月								縹色				縹色	薄墨色	黒色	赤色	本店
牛莊	銀両券	U号	10両		3,000枚	3寸7分	5寸8分	1903年1月								縹色				縹色	薄墨色	黒色	赤色	本店
天津	銀両券	J号	50両		1,000枚	4寸	6寸3分	1902年11月								縹色				縹色	薄墨色	黒色	赤色	本店
牛莊	銀両券	V号	50両		1,000枚	4寸	6寸3分	1903年1月								縹色				縹色	薄墨色	黒色	赤色	本店
天津	銀両券	K号	100両		500枚	4寸3分	7寸	1902年11月								縹色				縹色	薄墨色	黒色	赤色	本店
牛莊	銀両券	W号	100両		1,000枚	4寸3分	7寸	1903年1月								縹色				縹色	薄墨色	黒色	赤色	本店
牛莊	小洋券	P号	1円	1弗	20,000枚	2寸5分	4寸	1903年1月	凹漉	黒色	萌黄色	黒色	赤色	なし	黒色	紅梅	黒色	赤色	双龍					
牛莊	小洋券	Q号	5円	5弗	5,000枚	3寸	4寸8分	1903年1月								紅梅				黒色	赤色	双龍		
牛莊	小洋券	R号	10円	10弗	3,000枚	3寸5分	5寸5分2厘	1903年1月								紅梅				黒色	赤色	双龍		

表3 横浜正金銀行券(一覽払手形)券種一覽表

券種	額面	天津	上海	牛莊	北京	大連	青島	漢口	濟南	哈爾濱
銀券	1円			1種		1種	3種			
	5円			2種		1種	2種			
	10円			1種		1種	2種			
	50円									
	100円					6種	1種			
	10銭					1種	1種			
英洋券	1円			1種						
	5円			1種						
	10円			1種						
弗券	1ドル	3種	1種		2種			1種	1種	2種
	5ドル	3種	2種		2種			1種	1種	2種
	10ドル	2種	3種		2種			1種	1種	2種
	50ドル	-	1種		1種					1種
	100ドル	2種	2種		1種			1種		2種
小洋券	1円			1種						
	5円			1種						
	10円			1種						
銀両券	1両	-		1種						
	5両	1種		1種						
	10両	1種		1種						
	50両	1種		1種						
	100両	-		1種						
金券	1円	-				2種				
	5円	-				2種				
	10円	-				2種				
	50円	-								
	100円	-				1種				
計		13種	9種	15種	8種	18種	10種	4種	3種	9種
総計	89種									

表3 横浜正金銀行券（一覧払手形）様式タイプ一覧

タイプ	漢文面（ⅦとHのみ和文面）	英文面（Ⅶは漢文・英文併記、Hは漢文面）	該当銀行券	流かし
I-1	①額面地模様：雲形彩紋 ②「横浜正金銀行」名：影付文字で水平 ③支店名：飾り窓枠 ④図像：なし	①額面：金額英語表記 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：輪郭模様上部に接してアーチ状 ③支店名：飾り窓枠内英文 ④図像：玉を中心に相対する双龍	弗券・銀券・英洋券 1・5・10圓 天津・青島・牛莊・上海・北京・大連	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：英文面
I-2	①額面地模様：雲形彩紋、両脇に「小洋券」の彩紋 ②「横浜正金銀行」名：影付文字で水平 ③支店名：飾り窓枠 ④図像：なし	①額面：金額英語表記 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：輪郭模様上部に接してアーチ状 ③支店名：飾り窓枠内英文 ④図像：玉を中心に相対する双龍	小洋券 1・5・10圓 牛莊	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：英文面
II	①額面地模様：雲形彩紋 ②「横浜正金銀行」名：影付文字で水平 ③支店名：飾り窓枠 ④図像：なし	①額面：金額英語表記 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：輪郭模様上部に接してアーチ状 ③支店名：飾り窓枠内に英文 ④図像：唐草模様の中心に銀行徽章	弗券 1・5・10圓 漢口・濟南・哈爾濱	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：英文面
III	①額面地模様：唐草文に二楯付雲形彩紋 ②「横浜正金銀行」名：アーチ状の飾り窓枠に白抜き文字 ③支店名：文字のみ ④図像：なし	①額面地模様：金額英語表記 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：輪郭模様がない上部に影付文字 ③支店名：飾り窓枠内に英文 ④図像：券面右側に本店建物	弗券・銀券 100圓 天津・大連・漢口・哈爾濱	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：英文面
IV	①額面地模様：唐草文に二楯付雲形彩紋 ②「横浜正金銀行」名：アーチ状に影付文字 ③支店名：飾り窓枠内 ④図像：券面上部に玉を中心に相対する双龍	①額面地模様：金額英語表記 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：輪郭模様がない上部に影付文字 ③支店名：飾り窓枠内に英文 ④図像：券面右側に本店建物	銀両券 1・5・10・50・100兩 天津・牛莊	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：英文面
V	①額面地模様：八弁形彩紋 ②「横浜正金銀行」名：輪郭模様上部にアーチ状飾り窓枠内に白抜き文字 ③支店名：文字のみ ④図像：券面中央下部に本店建物	①額面地模様：二楯付八弁形彩紋 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：輪郭模様上部にアーチ状飾り窓枠内に白抜き文字 ③支店名：アーチ状の文字 ④図像：なし	弗券 10圓 上海・漢口	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：漢文面
VI-1	①額面地模様：二楯付八弁形彩紋（八弁が大きい） ②「横浜正金銀行」名：輪郭模様上部にアーチ状飾り窓枠内に白抜き文字 ③支店名：影付文字 ④図像：なし *輪郭及び行名飾り枠が額面で異なる	①額面地模様：雲形彩紋に金額英文表記 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：輪郭模様上部にアーチ状飾り窓枠内に白抜き文字 ③支店名：アーチ状飾り窓枠内 ④図像：玉を中心に相対する双龍	弗券 50圓 上海・北京	①書体：草書体（北京券）、篆書体（上海券） ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：英文面
VI-2	①額面地模様：二楯付八弁形彩紋（八弁が小さい） ②「横浜正金銀行」名：輪郭模様上部にアーチ状飾り窓枠内に白抜き文字 ③支店名：影付文字 ④図像：なし *輪郭及び行名飾り枠が額面で異なる	①額面地模様：雲形彩紋に金額英文表記 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：輪郭模様上部にアーチ状飾り窓枠内に白抜き文字 ③支店名：アーチ状飾り窓枠内 ④図像：玉を中心に相対する双龍（双龍の間隔僅かに広い）	弗券100圓 上海	①書体：篆書体（上海券） ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：英文面
VII-1	①額面地模様：唐草文 ②「横浜正金銀行金券」：文字のみ ③支店名：彩紋の上に「横浜正金銀行大連支店」縦書 ④図像：券面右側に本店建物、輪郭上部中央に徽章 *輪郭及び彩紋が額面で異なる	①額面地模様：彩紋上の飾り窓内に額面算用数字に「YEN」 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：額面の上部にアーチ状 ③支店名：銀行名と額面の間 ④図像：なし *輪郭が額面で異なる	金券 1圓 大連	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：和文面
VII-2	①額面地模様：唐草文 ②「横浜正金銀行金券」：文字のみ ③支店名：彩紋の上に「横浜正金銀行大連支店」縦書 ④図像：券面右側に本店建物、輪郭上部中央に徽章 *輪郭及び彩紋が額面で異なる	①額面地模様：彩紋上の飾り窓内に額面算用数字に「YEN」 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：額面の上部にアーチ状 ③支店名：銀行名と額面の間 ④図像：なし *輪郭が額面で異なる	金券 5圓 大連	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：和文面
VII-3	①額面地模様：唐草文 ②「横浜正金銀行金券」：文字のみ ③支店名：彩紋の上に「横浜正金銀行大連支店」縦書 ④図像：券面右側に本店建物、輪郭上部中央に徽章 *輪郭及び彩紋が額面で異なる	①額面地模様：彩紋上の飾り窓内に額面算用数字に「YEN」 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：額面の上部にアーチ状 ③支店名：銀行名と額面の間 ④図像：なし *輪郭が額面で異なる	金券 10圓 大連	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：和文面
VII-4	①額面地模様：唐草文 ②「横浜正金銀行金券」：文字のみ ③支店名：彩紋の上に「横浜正金銀行大連支店」縦書 ④図像：券面右側に本店建物、輪郭上部中央に徽章 *輪郭及び彩紋が額面で異なる	①額面地模様：彩紋上の飾り窓内に額面算用数字に「YEN」 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：額面の上部にアーチ状 ③支店名：銀行名と額面の間 ④図像：なし *輪郭が額面で異なる	金券 100圓 大連	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：和文面
VIII	①額面地模様：雲形彩紋 ②「横浜正金銀行金券」：アーチ状文字のみ ③支店名：「Y S B」組文字の上に「横浜正金銀行大連支店」縦書 ④図像：右側に徽章	①額面地模様：唐草文上に額面算用数字に「YEN」 ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：輪郭上部 ③支店名：銀行名と額面の間 ④図像：なし	金券1・5・10圓 大連	①書体：草書体 ②文字：「横浜正金銀行」 ③向き：和文面
IX-1	①額面地模様：和文は地模様の上、英文は飾り窓内に白抜き文字 ②「横浜正金銀行」名：輪郭上部アーチ状飾り窓枠内に白抜き文字 ③支店名：彩紋の上に「横浜正金銀行大連支店」縦書 ④図像：券面中央に本店建物 *輪郭及び彩紋が額面で異なる	①額面：なし ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：なし ③支店名：なし ④図像：地模様の草花文中央に徽章	銀券 10錢 大連・青島	②線状流 ③和文面
IX-2	①額面地模様：邦文は地模様の上、英文は飾り窓内に白抜き文字 ②「横浜正金銀行」名：文字のみ ③支店名：彩紋の上に「横浜正金銀行大連支店」縦書 ④図像：券面中央に本店建物 *輪郭及び彩紋が額面で異なる	①額面：なし ②「THE YOKOHAMA SPECIE BANK LIMITED」名：なし ③支店名：なし ④図像：地模様の草花文中央に徽章	銀券 50錢 大連・青島	②線状流 ③和文面